

インドに刻まれた、
巨匠たちの対話

LE

CORBUSIER
& B.V.

DOSHI

MODERNISM
IN INDIA

ル・コルビュジエとドーシ
インドのモダニズム

ユートピアの力 | 誓い 建築家B・V・ドーシ

2つのドキュメンタリーで紐解く、インドの計画都市とモダニズム建築



西洋のモダニズムとインドの精神性や風土が融合し
実現した“奇跡”を、2つのドキュメンタリーで紐解く



1947年、インドとパキスタンの分離独立により、パンジャブ州は分割され、州都ラホールはパキスタンに帰属した。インド初代首相ネルーは新州都として計画都市チャンディガールを構想し、建設をル・コルビュジエに託した。彼が目指したのは自然と近代技術が調和した、人間中心のユートピア。都市を人体に見立て、圧倒的な存在感を放つ州議会議事堂などが鎮座するキャピトル・コンプレックスを頭、商業エリアを心臓、緑地帯や公園を肺、道路を循環器系とした。また街をセクターという単位で区切り、道路システムを7階層に分け、建築規則を細かく定めた。その実現には彼の従兄弟の建築家ビエール・ジャンヌレが大きな役割を果たした。

チャンディガールの計画が始まるころ、コルビュジエに師事した若きインド人建築家があった。バルクリシュナ・ドーシ。後年、建築界のノーベル賞とされるプリツカー賞に輝く建築家である。彼はインド西部のアーメダバードのコルビュジエの作品「サラバイ邸、織維業会館など」の実施を担い、その後、ルイス・カーンとも協働した（インド経営大学。巨匠たちに薫陶を受けたドーシは、早くからサステナブルやエコの思想を建築に取り入れ、低所得者向け住宅プロジェクトや大学創設など社会課題の解決や教育にも尽力した。

伝統的な都市や建築から脱却し、壮大な実験を仕掛けたコルビュジエ。西洋のモダニズムを継承しながらも、インドの精神性や生活に根ざした建築を目指したドーシ。新しい建築理念によって未来を築こうした二人は、建築でどのような対話をし、何を遺したのか。彼らがいなくなった世界で、その建築物とビジョンはどのように変容し、継承されていくのか。2つのドキュメンタリーで紐解く。



ユートピアの力 THE POWER OF UTOPIA
- Living with Le Corbusier in Chandigarh



ヒマラヤの麓の荒野にゼロから誕生した、ル・コルビュジエの“輝く都市”チャンディガール。コルビュジエが唯一実現できた計画都市は、新生インドを象徴する都市として、人を中心に置き、「より良く、より公正で、より調和のとれた世界」を目指した。70年を経て、このユートピアはどのように変容したか。建築物と歴史を追いながら、住民である建築家、都市活動家、芸術家などがチャンディガールの直面している課題や揺るがない魅力について語る。

2023/スイス/85分/カラー/5.1ch/英語、ドイツ語
監督・撮影：カリン・フツハー、トーマス・カラー
編集：トーマス・カラー、ミリアム・クラーク・ケンペルガー、ファビアン・カイザー 音楽：アトール・シャルマ
出演：グルチャラン・シン・チャンニ、ディービカー・カンディ、シッタールト・ウィグ、ディーン・マーンナ

誓い 建築家B・V・ドーシ THE PROMISE. ARCHITECT BV DOSHI



2018年にインド人初のプリツカー賞に輝き、2023年に95歳で死去した世界的建築家バルクリシュナ・ドーシが、師匠であるル・コルビュジエやルイス・カーンと協働した建築物や自身が手掛けた建築物を訪れ、建築哲学や制作過程、そして70年におよぶキャリアについて語る姿を追う。モダニズムとインドの伝統、風土、精神性を融合した独自のスタイルを確立し、社会や環境に貢献する建築や、生活に根差した“人々のための建築”を志向した彼の最晩年の内面に迫る。

2023/ドイツ/90分/カラー/5.1ch/英語、グジャラート語、ヒンディー語
監督：ヤン・シュミット＝ガレ
撮影：ディートハルト・ブレンゲル 編集：サラ・J・レヴィン 音楽：ハルトーク・ペーラ
出演：バルクリシュナ・ドーシ、スフリド・サラバイ、スーリヤ・カカニ

「ル・コルビュジエとドーシ インドのモダニズム」企画・配給：トレノバ trenova

5.1 Fri. モダニズムの風が吹く

【当日料金】一般：2,000円 / 大学・専門学校生・シニア：1,400円 / 会員：1,300円



渋谷文化村前交差点左折
ユロスペース
EUROSPACE
03(3461)0211 www.eurospace.co.jp